



仁高通信

第4号
平成29年
7月28日発行

野球秋田大会 全校応援!

7月12日(水)、横手市で全国高等学校野球選手権大会秋田大会1回戦、五城目高校対 仁賀保高校の試合が行われ、仁賀保高校は惜しくも2-9で敗れました。生徒は、水色のメガホンとスポーツタオル(仁賀保高校創立40周年記念品)でスタンドをスクールカラーの水色に染め、吹奏楽部の演奏に合わせて全力で応援を行いました。野球部の親の会の皆様からは全校生徒に飲み物をいただきました。ありがとうございました。また、当日はたくさんの皆様より応援をいただきました。ご声援ありがとうございました。

野球部主将三浦壘君(3年)は、「五城目高校戦は、いつもどおり意志を持ったプレーをすることができ、失策ゼロで終わることができました。反省としては流れを引き戻すことができなかったことです。負けはしましたが悔いなく終わることができました。全校応援はとても力になりました。楽しい時間でした。応援ありがとうございました。」と感想を述べていました。



仁賀保高校創立40周年記念スポーツタオル



タッチアップで本塁へ滑り込んだ三浦選手



全校生徒の応援リーダーを務めた応援団長の佐々木孝成君(3年・写真中央)は、「試合中はずっと間違えたらどうしようと不安で緊張していましたが、選手への応援の踊りや掛け声を、全員が良く頑張ってくれました。試合は残念でしたが、グラウンドの選手と同様に、スタンドの応援生徒も全力を出し切ることができました。」と感想を語っていました。

鳥海山・飛鳥ジオパーク体験プログラム IN NIKAHO

7月23日(日)に、ジオパーク体験プログラムが開催され、本校のBV会が東北公益文科大学の学生の皆さんとともに運営のお手伝いを行いました。BV会の吉田美紗子さん(3年)は、「ガイド役を務めるために勉強し、自分自身とても勉強になりました。それを参加した皆さんに伝え、この地域の魅力に気づいてもらうことができうれしかったです」と感想を述べていました。



最優秀賞受賞～吹奏楽部（小編成部門）

7月7日（金）、秋田県民会館で全日本吹奏楽コンクール地区大会が開催され、小編成部門で本校の吹奏楽部が最優秀賞を受賞し、7月30日（日）に湯沢市文化会館で開催される全県大会への出場資格を得ました。部長の池田彩さん（3年）は、「途中で投げ出したくなるほど辛く苦しい練習もたくさんありましたが、それを乗り越えたからこそ得られた結果だと思います。県大会本番では自分たちの精一杯の演奏ができるよう、自分たちの曲を高めて行きたいです。」と抱負を述べていました。



外部指導者の指導を受けてパートの練習に励む部員たち

トライアスロン大会ボランティア

7月16日（日）、象潟海水浴場をスタート・ゴールとして開催された「第30回秋田トライアスロン芭蕉レース象潟大会」に、本校から116名の生徒・職員がボランティアとして参加し、大会運営の補助を行いました。本校は第1回大会からボランティアに参加しており、大会運営を支える貴重な戦力となっています。参加した齋藤紀華さん（3年）は、「中学生の時から4年連続で参加しています。何かの役に立てることがうれしいです。」と話していました。当日は途中激しい雨に見舞われましたが、生徒達は最後まで頑張っていました。



通過者チェック打ち合わせ



バイクへ向かう選手への給水



計測器の取り外し



スイムの物品片付け

8・9月のおもな行事 求人票公開始まる！

〔8月〕

- 21日（月）始業式、実力テスト、整容指導
- 22日（火）球技大会～23日（水）
- 24日（木）面接週間（短縮授業）～30日
- 30日（水）PTA役員会②

〔9月〕

- 5日（火）就職応募書類完成
2年生インターンシップ開始～7日
- 6日（水）就職面接指導～8日
- 14日（木）献血
- 15日（金）3年模試～16日
- 16日（土）就職採用試験開始
- 20日（水）第1回進学推薦選考会議
- 25日（月）学校祭（9/30）代休
- 30日（土）仁高祭（校内発表）

7月1日より新規高卒求人の求人票が公開され、廊下に貼り出された求人票をのぞいて相談する生徒の姿が見られます。本校の就職支援員の齋藤香奈子さんは、「県内の製造業の求人件数（36件）は昨年（37件）とほぼ同じですが、TDKグループが多くの人を出したため、求人数は昨年（171名）と比べて1.5倍（257名）となっています。製造業以外は昨年より少なくなっていますので、県内の販売・接客を希望している生徒は、職種にこだわらどうか良く考えて決めて欲しいです。」と、現時点（7月中旬）の求人状況を説明していました。

